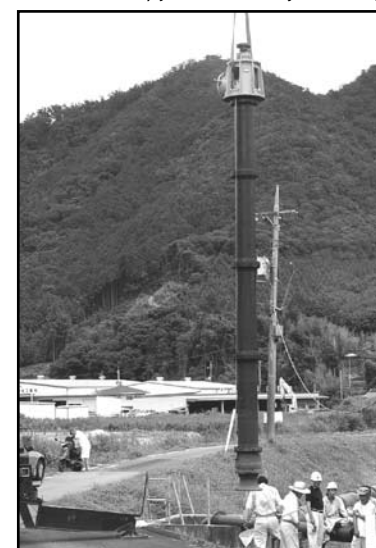


用水ポンプを点検修理

榎野川の水を汲み上げる用水ポンプが突然機能しなくなり、8月6日専門業者の手によって素早く、点検が行われ、必要な対応が行われました。

このポンプは水を7メートルの高さまで毎分10m³の量で汲み上げる強力なものです。このポンプによって、地区の圃場の大部分に水を供給しています。



引き上げられたポンプ本体

今回は軽微なものでしたが、それでも大きなポンプ本体を引き上げることが必要でした。何らかの対策が必要かもしれません。

溝蓋改良で静かな農道

地区内農道では唯一鉄製の溝蓋のある場所がありました。これは以前に水の確保が問題となり、コンクリート製の溝を改良したためのもので、



振動ドリルでコンクリートにアンカーボルト用の穴を加工

しかし、

車両が通行する度に大きな金属衝撃音が、地区内に響いていました。

お盆休みの終わり8月16日、かねてより検討していた方法で溝蓋をコンクリート溝部分に固定しました。

これにより、あの大きな音はしなくなり、環境維持に努めてまいります。

なつかしい笑顔 元気な声が響きあう

恒例となりました「八方原ふれあい盆踊り」が、8月11日三角公園で行われました。

慰霊の盆踊りとふれあい夏まつりを組み合わせた地区の大きな行事の一つです。地区内の多くの事業所がこの行事に御協賛下さいました。ご寄付の総額は12万円を越しまし

八方原ふれあい盆踊り



新型の「盆踊り」登場か

た。多くのご芳志によって支えられています。

また、こうしたお祭には欠かせない食べ物や飲み物は生活改善グループ、ソフトボール同好会を主体とした青年部、それに子ども会がそれぞれの持ち場で頑張りました。



生改連グループは炊き込みご飯といなり寿司を販売

会場づくりには早朝から、区長や班長を中心に多くの方が協力されています。今まで、踊りの中心に立っていた柱もこの度林博一さんのお骨折りで、新しいものになりました。

子どもたちや若者も、踊りの輪に加わり、多いに楽しみました。また、日頃は仕事や学校で顔を会わせることのない隣近所や友人たちとももしかご挨拶、楽しいひとときでした。

ラジオ体操花火夕立 蝉の声

夏休みは早起きになる

夏休みの朝のラジオ体操は、今も続いています。今は消防ポンプ小屋の前の農道で行っています。体操が終わったあとのランニングも受け継がれています。今年の参加者はほとんど女の子ばかりです。

以前は子ども会のお世話役の家で、体操が行われていました。ラジオを庭先に引き出して行ったものですね。

携帯型のラジオが普及して、家で行う必要もなくなったことと、お勤めに



上級生がお手本を示しながらの、朝の体操 10 分間

出られるお宅では、自動車の出入りを妨げるようになることから、今の形になりました。

プールで楽しく錬成会



錬成会の思いで (1年生 すえだゆか)

昔の子ども会は夏にはキャンプにも行っていました。地区の海水浴もありましたから、子どもたちは海に行くチャンスが最低2回はありました。

現在の子ども会の錬成会は水泳などのできる施設で過ごすことが多くなりました。今年は宇部市内のプール施設で行われ、大人と子ども合わせて23人の参加でした。楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

榎野川で水泳ができたのは、何十年も前になります。今では水泳はプール

で行うものになりました。しかし、夏休み中は管理責任の問題から、小学校のプールは使用しないことになっています。

きれいに分別新聞・アルミ・スチール缶



たくさんの缶や資源ゴミを片づけながら、ほっと一息

もう一つの大きな行事は廃品回収です。今年は暑かったせいもあって、たくさんアルミ缶が集まりました。毎月のリサイクル活動の倍以上の量です。新聞紙も大量、集積所はいっぱいでした。

昔は各家庭をリヤカーを曳いて、お願いに上がったものです。それに、子ども会と中学生が別々に行っていました。各ご家庭も提出するのを分けておられたと思います。今は軽トラックで集めて、分別をしっかりとるだけ。

当たり前前のことですが、時代とともに形は変わって行きます。

8月26日に行われた小郡地区ソフトボール大会で、八方原チームは念願のAブロック優勝を果たしました。初戦の矢足戦は先行されましたが、逆転勝ち、2回戦は花園を退け、決勝

八方原チーム小郡地区代表となる



戦は好投手を擁する奥前畑を大差で敗りました。

この結果、八方原チームは小郡地区代表として、9月2日に大内長野のリフレッシュパーク行われる大会に進むことになりました。